

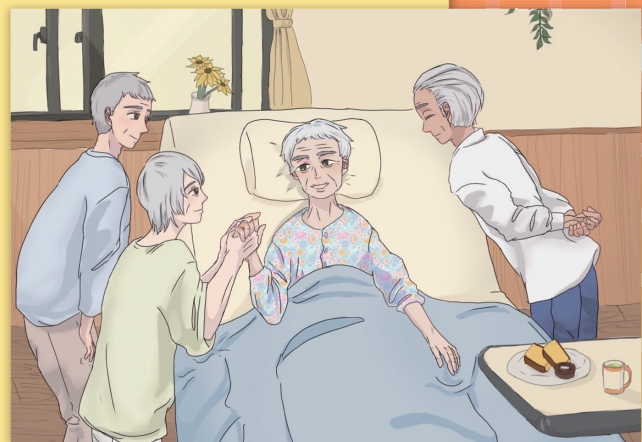
豊橋 特別養護老人ホーム 大清水彩幸

職員だより

大清水特養では、入居者様が「普段通りの生活」を最後まで継続できるように力を入れ、小さな変化への気づき、気持ちに寄り添う姿勢、新しい取り組みへの挑戦……。若い職員がその担い手として活躍しています。



～若手のひたむきな眼差し～



「看取り介護」を行う施設として、入居者様の残された最期の時間を大切にご家族様に囲まれながら過ごすお手伝い。そして、入居者様の日々の表情や言葉のひとつひとつを目と耳、心で看ることができ、そんな施設でありたいと職員一丸となり取り組んでいます。



豊橋・大清水 彩幸

特別養護老人ホーム

グループホーム

豊橋 グループホーム 大清水彩幸

施設だより

当日の企画として、入居者様や大勢の方々が来訪頂き、手品師による手品披露、施設職員による余興の髭ダンス、ジャンケン大会などで楽しんで頂きました。



入居者様による作品の展示では、習字を書いた後、絵具にて頑張って素敵なイラストを描いています。絵と書道が合わさった色鮮やかな作品以外にも、昔懐かしい手作りでんぐ太鼓やヨーヨーを展示しました。



入居者様のご家族様にも来訪頂き、イベントや飲食などご家族と一緒に過ごす時間が多くありました。売店やキッチンカー「スエヒロさん」の唐揚げも楽しめたようです。

文化交流会



豊川 彩幸

ケアハウス

デイサービスセンター

居宅介護支援事業所

豊川 ケアハウス豊川 彩幸

施設だより ケアハウスの暮らし

入所者様の過ごし方は、日中はデイサービス・仕事・散歩や買い物・友人と外食・病院へ出かける方、さらに車を運転される方もあり皆様それぞれにゆとりある暮らしをされています。「何かやる事ないかん?何でもお手伝いしてあげるでん」と声を掛けてくださり、雑巾作りの縫物や、草取りに協力して下さいます。手縫いの雑巾は丈夫で軟らかくとても使い易いですし、綺麗にして下さった花壇は季節の草花が元気良く広がります。



外出される方は「行ってきます!」「ただいま～」と声をかけて下さり、「今日は美味しそうなスイーツを買ったよ」「こんな魚を釣ってきたよ」など土産話を沢山聞かせて下さいます。



利用者が今日も「一日頑張ろう! 帰って来て良かったあ…」と思ってもらえるよう、「行ってらっしゃい!」「おかえり～」の挨拶をととても大切にしています。暖かくてホットできる、居心地の良い、環境を守り続けていきたいと思っています。

豊川 デイサービスセンター豊川 彩幸

施設だより 季節を感じるアレンジフラワー教室

毎月好評頂いているアレンジフラワーでは季節感や個人の個性を活かした品作りを実施しています。季節感を感じて頂けるお花や彩りの良い品を集め、ハロウィンやクリスマスマスコットのスティックピックや包装を行い、ご自宅で飾った時にいつまでも楽しめるように仕上げています。

「薄紫が可愛いこの花は何で名前?」「私の好きなお花だよ! 綺麗だね～」
「香りや色合いが季節を感じるね」「どの長さに切れば、可愛いかな?」

など、話題も豊富で会話も弾み、和やかな雰囲気の中で時間が経つのもあっという間です!

笑顔と真剣な表情で私達も一緒に楽しませて頂き、コミュニケーションのきっかけになっています!今後も、アレンジフラワーをより充実させ、季節感や楽しみのある空間、ご自宅での癒しをお届けできるように工夫を重ねて参ります。



豊川 居宅介護支援事業所 豊川 彩幸

施設だより 鶏で繋がる地域の輪

いつも訪問しているお宅に、たくさんのお名古屋コーチンの姿があります。綺麗な羽を持ち、呼べば寄って来てくれ、立派な鳴き声を響かせています。とても愛らしく、利用者、ご家族はもちろん地域の方からも愛されています。散歩がてら鶏を見に来てくれ、「地域のコミュニティ」も担ってくれています。



大切に育てられており、先日孵化にも成功し、無事に6羽かえりました。産卵から3週間程で小さな嘴で時間をかけ殻を割って出てくる姿は感動と命の尊さを感じたそうです。可愛い姿に目元も緩みますね。

鶏の家族も増えさらに地域のコミュニティを広げてくれることでしょう。(M)



■機関紙「仁志(に)」2026年1月(第14号) ■2026年1月15日発行 ■企画・編集・発行 / 社会福祉法人 豊生会 彩幸 〒441-3213 豊橋市西赤沢町字深山95

高齢者でお困りごと、入居・利用の相談等、お気軽にお問合せ下さい。
社会福祉法人豊生会 <https://saikou.or.jp/>
【彩幸】豊橋市西赤沢町字深山95番地 TEL.0532-23-6011
【大清水彩幸】豊橋市東大清水町181-1 TEL.0532-25-3361
【豊川 彩幸】豊川市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771

人はそれぞれの個性を持って生まれ
ひとりとして同じ人生を歩む人はいない
生まれも育ちもちがう人達が集う施設だから
自分色の光を輝かせながら
お互いの色を重ね合わせる虹のように
ここで **幸せの彩り**を輝かせてほしい

社会福祉法人 豊生会 彩幸

<https://saikou.or.jp/>


Vol.14

2026年1月発行

豊生会 彩幸発行
機関紙「仁志」

新理事長挨拶



理事長 野田 由佳里

「人を育て、人を支える彩幸であることを、何よりも大切に」

このたび、社会福祉法人豊生会の理事長に就任いたしました。野田由佳里でございます。

まずは、本法人のこれまでの歩みを築いてこられた歴代理事長ならびに関係者の皆様そして日々介護の現場で利用者の皆様に向き合ってきたさびる職員

の皆様に、心より感謝と敬意を申し上げます。私はこれまで、介護の現場における実践とともに、介護を担う人材の育成、すなわち介護教育にも深く関わってまいりました。その中で貫じて感じてきたことは、介護とは技術や制度だけで成り立つものではなく、人の人生に寄り添う心と姿勢そのものであるということです。目の前の利用者お人おひとりが歩んでこられた人生に思いを巡らせ、その方らしさを大切にすること。その積み重ねが、信頼につながり、安心につながり、介護の質を高めていくのだと学んできました。

本法人が担う介護は、日常生活の支援にとどまらず、人生の節目や最終段階に寄り添う、非常に尊い営みです。だからこそ、私たちは常に「この支援は、その方の尊厳を守れているか」「その方らしさを暮らしにつなげているか」を問い続けなければならぬと考えています。少子高齢化が急速に進む中、介護現場は人材不足や業務の複雑化など、厳しい課題に直面しています。そのような時代において、社会福祉法人には、地域から信頼され、安心して任せていただける存在であることが、これまで以上に求められています。

私は理事長として、現場の声に耳を傾け、教育と実践をつなぎながら、職員一人ひとりが専門職として成長し続けられる法人づくりに力を尽くしてまいります。また、職員がこの仕事を続けてよかった「この法人で働いてよかった」と感じられることは、結果として利用者の皆様へのより良い介護につながります。人を育て、人を支える法人であることを、何よりも大切にしていきたいと考えています。

これからも、地域の皆様ご家族の皆様と手を取り合いながら、介護を通じて人と人とが支え合う温かな地域づくりに貢献してまいります。今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



豊橋(西赤沢) 彩幸

●特別養護老人ホーム ●ショートステイ
●デイサービスセンター ●軽費老人ホームケアハウス
●居宅介護支援事業所 ●地域包括支援センター
〒441-3213 豊橋市西赤沢町字深山95
TEL.0532-23-6011 FAX.0532-23-6010

豊橋(大清水) 彩幸

●地域密着型特別養護老人ホーム
●グループホーム
〒441-8131 豊橋市東大清水町181-1
TEL.0532-25-3361 FAX.0532-25-3707

豊川 彩幸

●軽費老人ホームケアハウス
●デイサービスセンター ●居宅介護支援事業所
〒442-0846 豊川市森6丁目66-2
TEL.0533-88-9771 FAX.0533-88-9772

社会福祉法人 豊生会 彩幸

豊橋 特別養護老人ホーム 彩幸 施設だより レインボースマイルプロジェクト

今年度、特養では「**レインボースマイルプロジェクト**」を立ち上げ、“虹”のように素敵な笑顔で利用者様に過ごしていただくことを目標に、さまざまな企画に取り組んでいます。

その一環として、毎月「**職員アトラクションの日**」を開催し、「マジックショー」「髭ダンス」「鯉のぼりダンス」「七夕(劇)」「盆踊り」「水戸黄門(劇)」「カチャーシー(沖縄の踊り)」「かぐやひめ(劇)」など、多彩な演目を楽しんでいただいています。

利用者様が一緒に身体を動かせる体操を取り入れるなど、“**見るだけではない参加型の企画**”として毎回大いに盛り上がっています。活動の様子は当施設のInstagramでもご紹介しておりますので、ご興味のある方はぜひご覧ください



豊橋 彩幸 特別養護老人ホーム ショートステイ

豊橋 ショートステイ 彩幸 施設だより ～四季折々ショートステイでの過ごし方～



ショートステイでは、季節ごとに移り行く小さな楽しみを利用者様と一緒に味わっています。**春には色とりどりのチューリップや桜が玄関に咲き誇り、皆さまと並んで花の色や香り**を楽しみ、穏やかな時間が流れます。**夏には流しそうめんを味わい**、涼やかな水の音とともに笑顔が広がり、食欲も会話も自然と弾みます。**秋には中庭でシャボン玉を追いかけて、澄んだ空へふわりと舞い上がる光景に**、利用者様の表情も柔らかくほころびます。**冬にはきらめくクリスマスツリーを背景に**写真を撮り、思い出の一枚を残すほか、**餅つきで一年の締めくくり**をし、つきたてのお餅の香りに季節の移ろいを感じていただいています。

こうした行事を通して、日々の暮らしにそっと寄り添う喜びや温かさが生まれるよう、職員一同、利用者様との過ぎ行く時間を大切にしています。

豊橋 居宅介護支援事業所 彩幸 施設だより 和田 今朝春 様



和田 今朝春 様



今朝春さんは長野県上田市のご出身です。名前の由来は誕生時、へその緒が首に絡まって生まれてきた状態が袈裟を着ているように見える事に由来し、危険な状況から無事に生まれてきた子供の成長を願うおまじないとして「袈裟」「今朝」という言葉を入れる風習からだそうです。

今朝春さんのお父様は太平洋戦争の激戦地、硫黄島で戦死されており、今朝春さんは遺族会として全国の慰霊祭に参列され、また硫黄島戦没者遺骨収集派遣にも参加されてきました。広い島の中を区域分けし、くまなく探す作業を20日間ほど続けます。初夏は地表温度が40度を超える過酷な環境で、硫黄の濃度が高かったり、不発弾が見つかったと安全確保のために中断しながらの作業です。見つかった遺骨には敬意を払い、硫黄島に駐在している自衛隊員が正装をしてお見送りをされます。今朝春さんは「早くお父さんを家に帰してあげたい」という思いで毎回取り組まれてきたそうです。

最後にこの機関誌をご覧になっている方に一言お願いすると「こんな事は私たちが最後にして欲しい」と話されました。日常の安全や自由は当たり前ではなく、周りの人や平和な暮らしに感謝し、この時間を大切にしていかなければいけないと思いました。

今朝春さん、貴重な経験をお話くださり、ありがとうございました。

豊橋 彩幸 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター

豊橋 彩幸地域包括支援センター 施設だより 地域が動いた 富士見台 見守りの第一歩



河原校区
自治会長

一昨年、富士見台において認知症の高齢者の方が行方不明となる事案が発生しました。自治会、地域住民、地域包括支援センター、警察が一体となり懸命な捜索を行いました。現在も発見には至っていません。この出来事は、私達に「もし、また起きたらどうするのか」という重い問いを残しました。

高齢化率がこの10年で30%を超えた富士見台において、認知症はもはや特別な問題ではなく、誰の身近にも起こり得ることなのです。この事案をきっかけに、河原校区自治会長、2区〇山自治会長を中心として「富士見見守り活動推進委員会」が立ち上がりました。委員やボランティアの募集が行われ、活動を開始。

委員の皆さんは認知症への理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を受講されました。そして「もしまた…」に備えるため令和7年12月14日、富士見校区行方不明者捜索模擬訓練が開催されました。行方不明者捜索を想定した模擬訓練で連絡網の確認、捜索時の行動、高齢者へ声をかける実践的な訓練です。参加者は捜索出発前に、声かけの基本的な方法を確認。高齢者役は彩幸職員が担当し、実際のリアルな対応でマニュアル通りにいかない場面に参加者からは「実際に声をかける難しさを感じた」と、学びの多い訓練となりました。



この富士見見守り活動推進委員会の取り組みは高齢者が住み慣れた地域で認知症になっても自分らしい生活を続けられるよう地域が考え、地域が動き、地域を守ろうとした行動です。「もしもの時に、誰かが一人で抱え込まない地域へ」。

富士見台で生まれたこの一歩が、今後の安心につながっていくことを願い、私達地域包括支援センターもともに歩み、見守り、支えていきたいと考えています。

2区
〇山 自治会長

豊橋 ケアハウス 彩幸 施設だより ～荻野清子様～

「ほどよく孤独に生きてみる」

おどることなく人と比べず、笑顔で暮らせればそれで良いではないか。85歳になろうとしてようやくたどり着いた私の生き方です。

いやな事や悩みがある時、編物をして忘れるようにしている。ただひたすら手を動かしていると、いつしか気持ちがおさまりほっとしてくる。これからの人生は、編物や読書、好きな事をしてのんびり暮らしたく思う。好きな本は源氏物語です。一人一人の女性の生き方を読んでいるととても楽しくなる。夕顔の花の咲いている頃、花を見つつ飲むビールは最高ですね。他には、聖徳太子について書かれたもの、日本書紀など。最近、NHKで放送している100分で名著や古代文明に夢中です。

豊橋石巻にある古墳を見に行ったことがあるが、今は身体の不自由さで、旅行には出かけられず残念です。ケアハウス彩幸の部屋から見える夕焼けの色が旅情を誘うような気がして何より好きです。

どんな小さな事ででもひとつひとつ、人にやさしく自分にやさしく、残りの人生のんびりと生きていきたい。八十有余年も生きてみて今が一番楽しい毎日です。これからやりたい事は、漢字の勉強をやってみようと思っています。



豊橋 彩幸 ケアハウス デイサービスセンター

豊橋 デイサービスセンター 彩幸 施設だより 高塚女子会

かつて同じ町内で、婦人会や、スポーツで汗を流した仲間たち。年を重ね、それぞれの生活環境が変わり、特養へ入所されたり、外出が難しくなった方も増えてきました。

「もう昔みたいに集まることは難しいかもしれない」そう思われていた方々が、このたびサービスの枠を越えて、再び顔を合わせる会合を開きました。久しぶりの再会に笑顔の花が咲きました。

「おお、元気にしとったか!」「変わらんねえ、昔のまんま!」握られた手は温かく、長い時間をともに過ごしてきた強い絆を物語っていました。会合の最後には、「また集まりたいねえ」という前向きな声があがり、別れ際にも笑顔が絶えませんでした。年齢や環境が変わっても、地域で築いた絆は消えることはありません。

今回の会合は、そのことを改めて感じさせてくれる、大切なひとときとなりました。私たちはこれからも、“かつての仲間たちが再び出会う場”をつくり続ける結び人になりたいです。

半年の修行にて完成させた、究極ダンス。40代職員は肉離れにも負けず本番を迎えました。是非ご覧ください。最後には彩幸の曲を作りました。「紡ぐ七色」とても心が温まる曲です。是非聴いてください。

